

テサロニケ

第二

①

信仰者の 召命と希望

テサロニケ人への手紙第二 1章 挨拶・終末の約束

Shikaoichurch.com

アウトライン

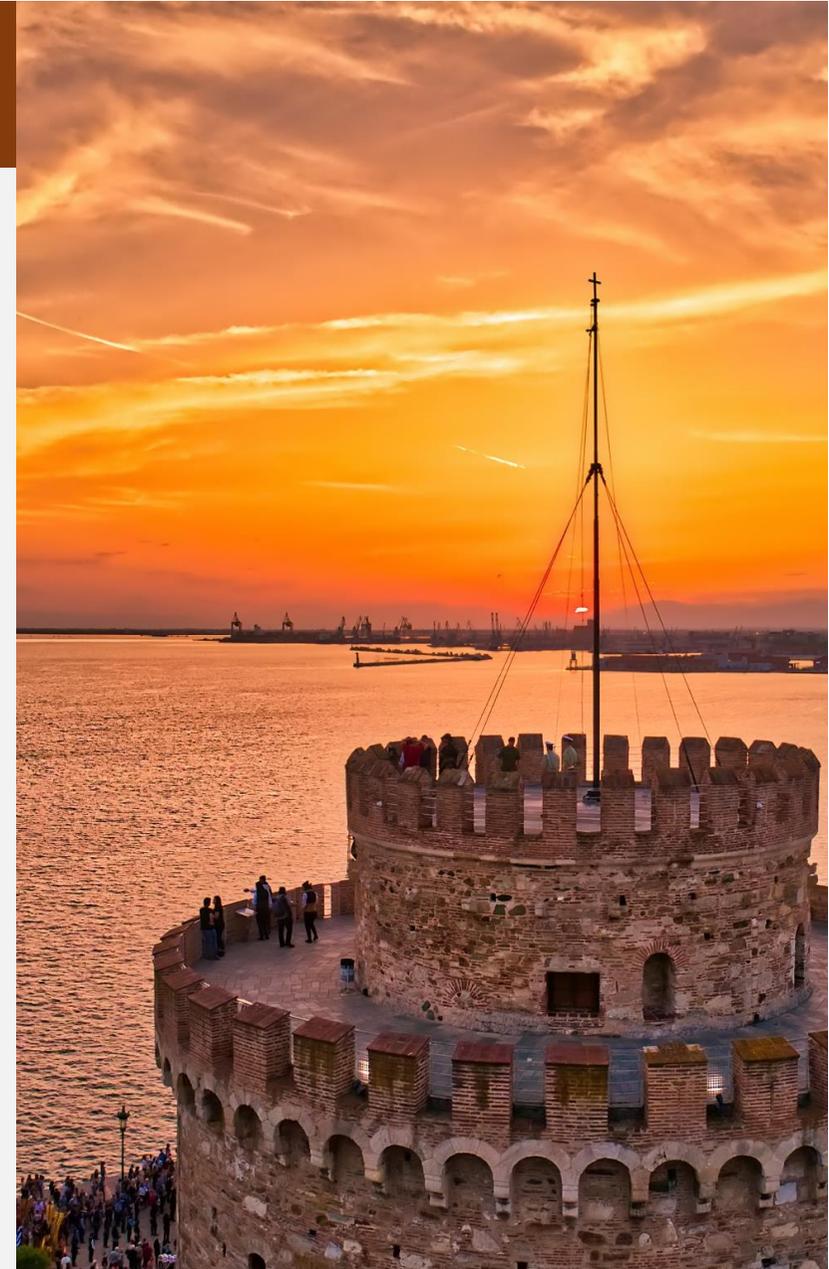
0. イントロダクション

I. 挨拶 1～4節

II. 終末に向けた召命と希望 5～12節

III. まとめと適用

クリスチャンの召命と希望



テサロニケへの手紙第一とは？

- 著者 …使徒パウロ(書記テモテ)
- 宛先 …テサロニケ教会
- 執筆時期・場所
…コリント(最初の滞在中)
第一の手紙数ヶ月後?!
- おもな目的 …終末論補講第二弾!!
「主の日は来た？」
➡誤解を解く



テサロニケへの教会とは？

- ギリシャ神話の神が名の由来
…偶像礼拝。性的乱れ。
- マケドニア州の要衝の町
ユダヤ人の会堂もあった
- 第二次宣教旅行でパウロが伝道。
教会が誕生。➡異邦人が中心。
- 貧しくも信仰熱心、愛の行いも。
マケドニア州にある教会の核に





I. 挨撈 1~4節

テサ口ニケ郊外

挨拶 主にある教会 IIテサ1:1~2

パウロ、シルワノ*、テモテから、私たちの父なる神と主イエス・キリストにあるテサロニケ人の教会へ。

私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安があなたがたにありますように。

*マケドニア宣教にパウロと同行(Iテモ1:1)

■教会は、父なる神と主イエスにある。



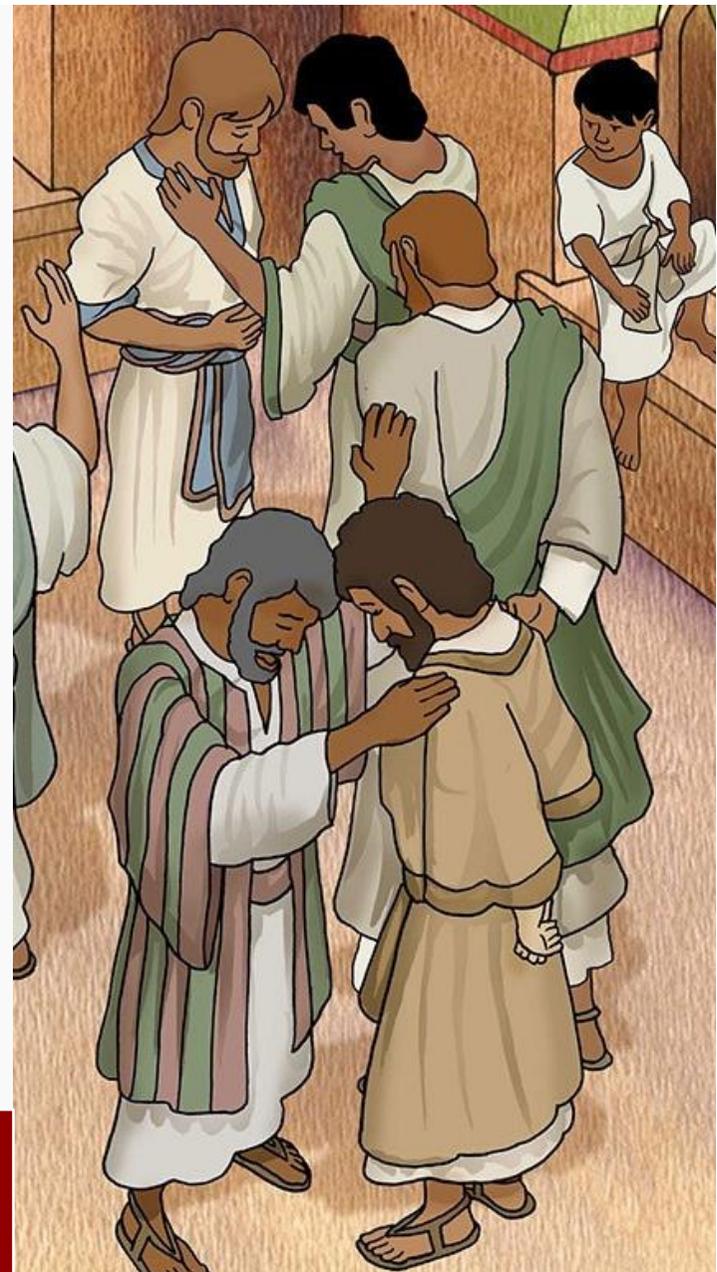
挨拶 主への感謝 II テサ1:3

兄弟たち。あなたがたについて、私たちはいつも神に感謝しなければなりません。それは当然のことです。あなたがたの信仰が大いに成長し*、あなたがたすべての間で、一人ひとりの互いに対する愛が増し加わっている*からです。

* 兄弟姉妹の成長を喜び、感謝するパウロ

■ 信仰者の成長 = 互いへの愛が増し加わる

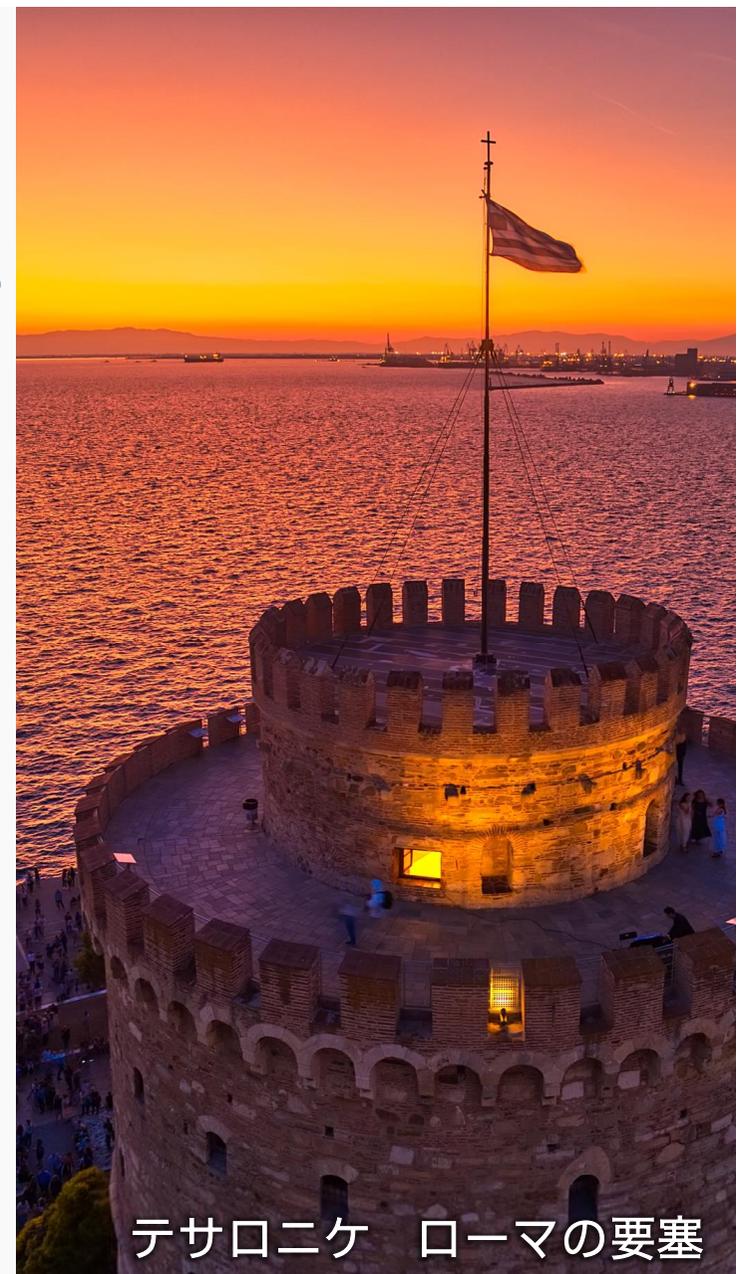
互いの成長を喜び合う関係性の大切さ



挨拶 忍耐と信仰 II テサ1:4

ですから私たち自身、神の諸教会の間であなたがたを誇りに思っています。あなたがたはあらゆる迫害と苦難に耐えながら、**忍耐***と信仰を保っています。

*主への信頼と希望を絶やさないのが、忍耐



テサロニケ ローマの要塞



Ⅱ. 終末に向けた召命と希望

5～12節

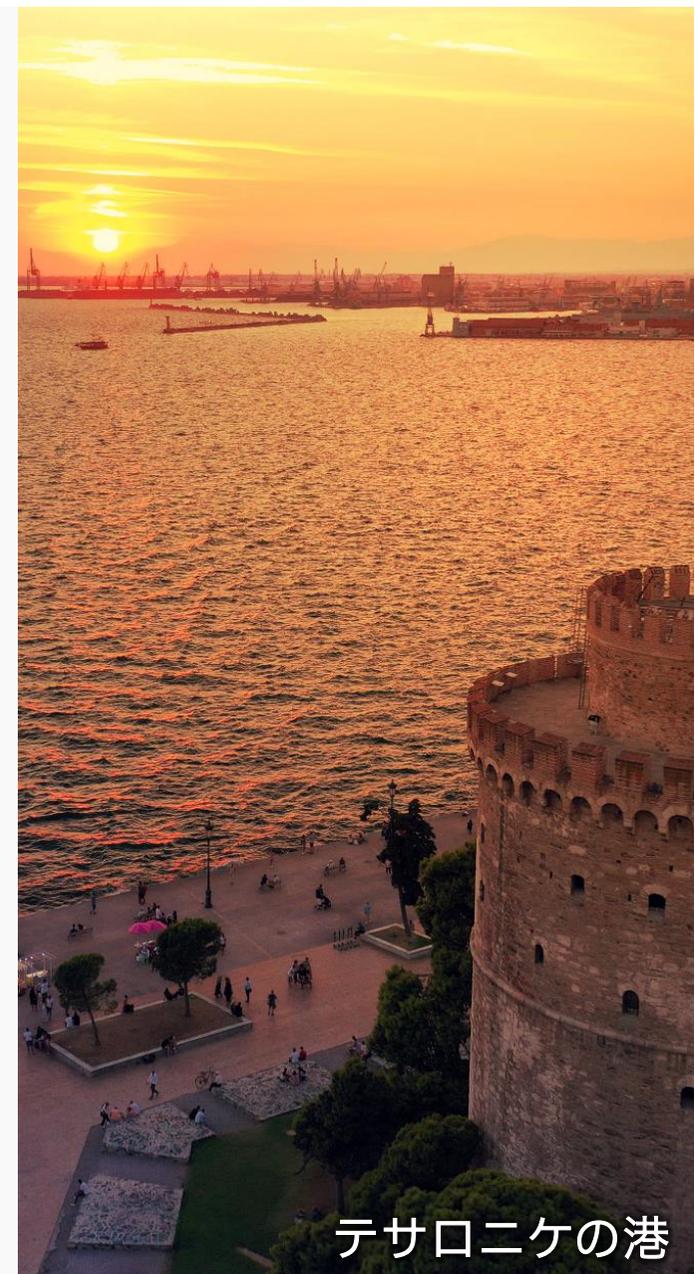
テサロニケ

終末 神の国のため II テサ1:5

それは、あなたがたを神の国*にふさわしいものと認める、神の正しいさばき*があることの証拠です。あなたがたが苦しみを受けているのは、この神の国のため*です。

- 忍耐の土台に、終末における主の裁き*が!!
- 信仰者が、世にあって苦難があるのは、再臨のメシアが建てられる神の国*に入るため。

挨拶もそこそこに終末論に入るパウロ!!



テサロニケの港

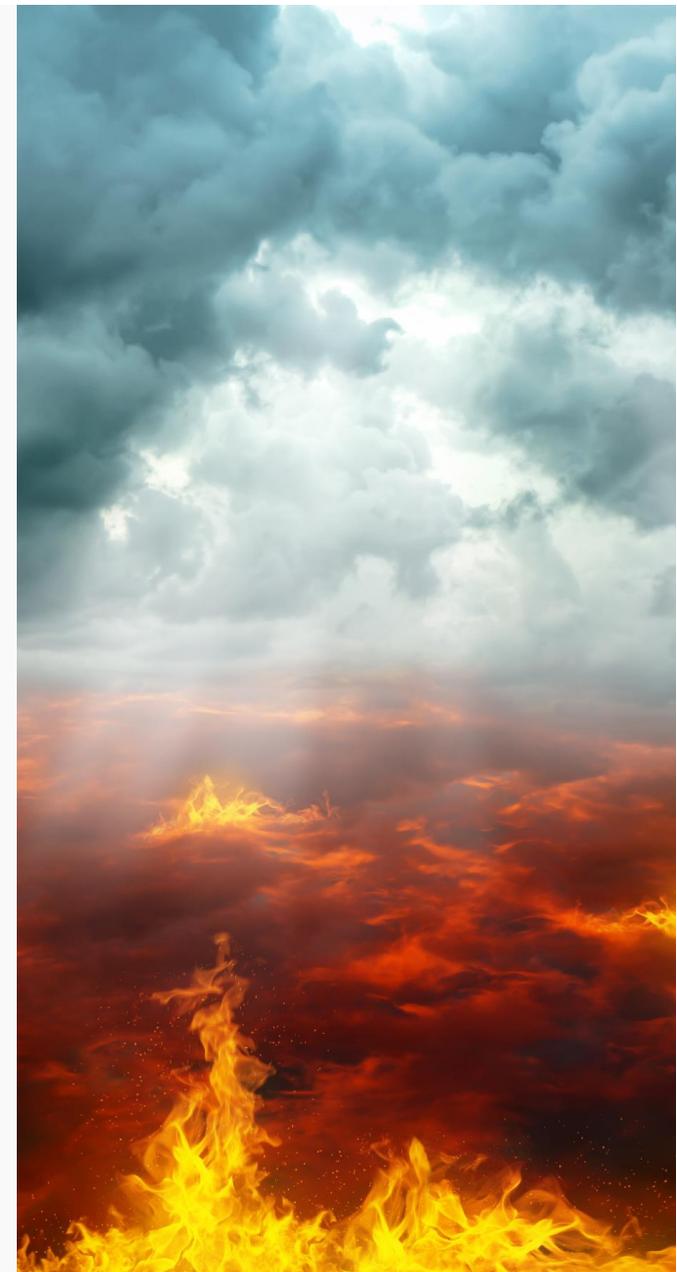
終末 安息の時 II テサ1:6~17

神にとって正しいこと*とは、あなたがたを苦しめる者には、報いとして苦しみを与え、苦しめられているあなたがたには、私たちとともに、報いとして安息*を与えることです。このことは、主イエスが、燃える炎の中に、力ある御使いたちとともに天から現れるときに起こります。

*神の義…敵対者への裁き、信仰者への報い

*ここでは、“御国における永遠の安息”

■再臨の栄光のイエスが、地上から悪を一掃し、永遠の安息の地、神の王国を建てられる。



終末 永遠の滅び Ⅱ テサ1:8~9

主は、神を知らない人々*や、私たちの主イエスの福音に従わない人々に罰を与えられます。

そのような者たちは、永遠の滅びという刑罰を受け、主の御前から、そして、その御力の栄光から退けられることになります。

*知る = 一体化。神を知らない → 信じていない

■福音を拒んだ者は裁かれ、永遠の滅び*に!!

永遠の滅び = 主の栄光から退けられる



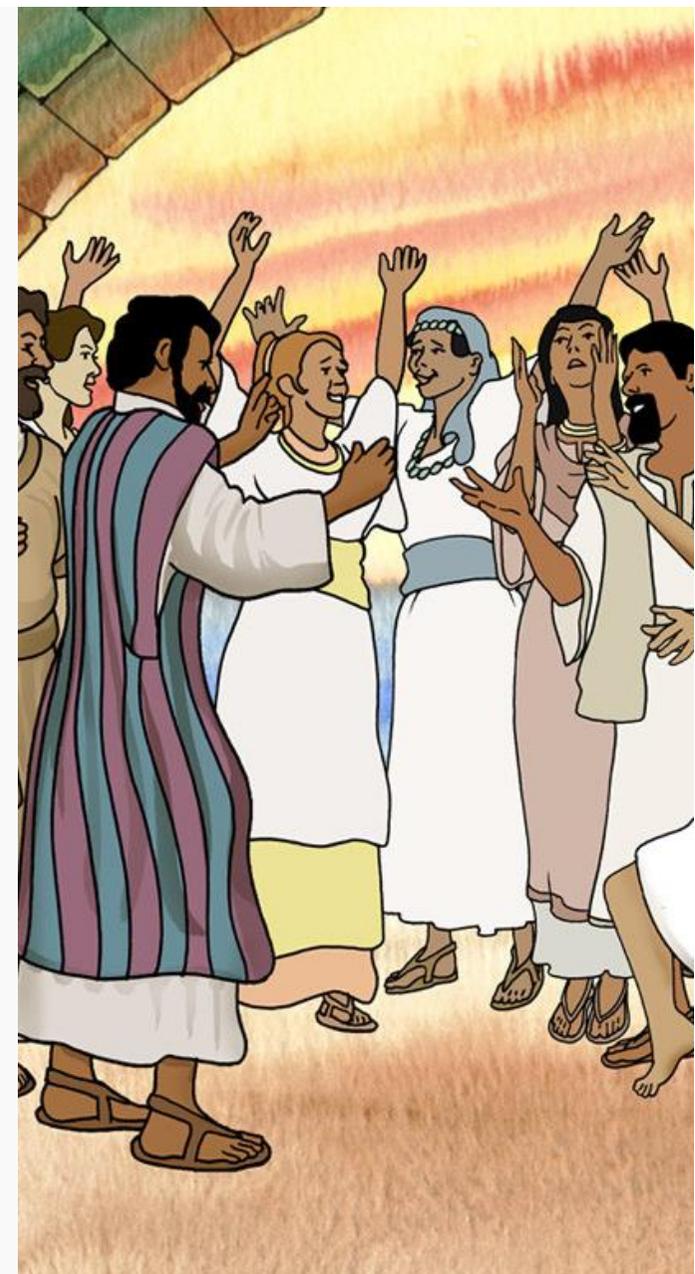
終末 主の日 II テサ1:10

その日*に主イエスは来て、ご自分の聖徒たち
の間であがめられ、信じたすべての者たちの間
で感嘆の的となられます。そうです、あなたが
たに対する私たちの証しを、あなたがたは信じ
たのです。

*“主の日”…ここでは主イエスの再臨の時

■パウロが証しし、テサロニケの人々が信じた

➡主イエス・キリストの福音



パウロがテサロニケでも証しした福音

■ 1 コリント 15:3~5

私があなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。

キリストは、聖書に書いてあるとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、

また、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに、三日目によみがえられたこと、

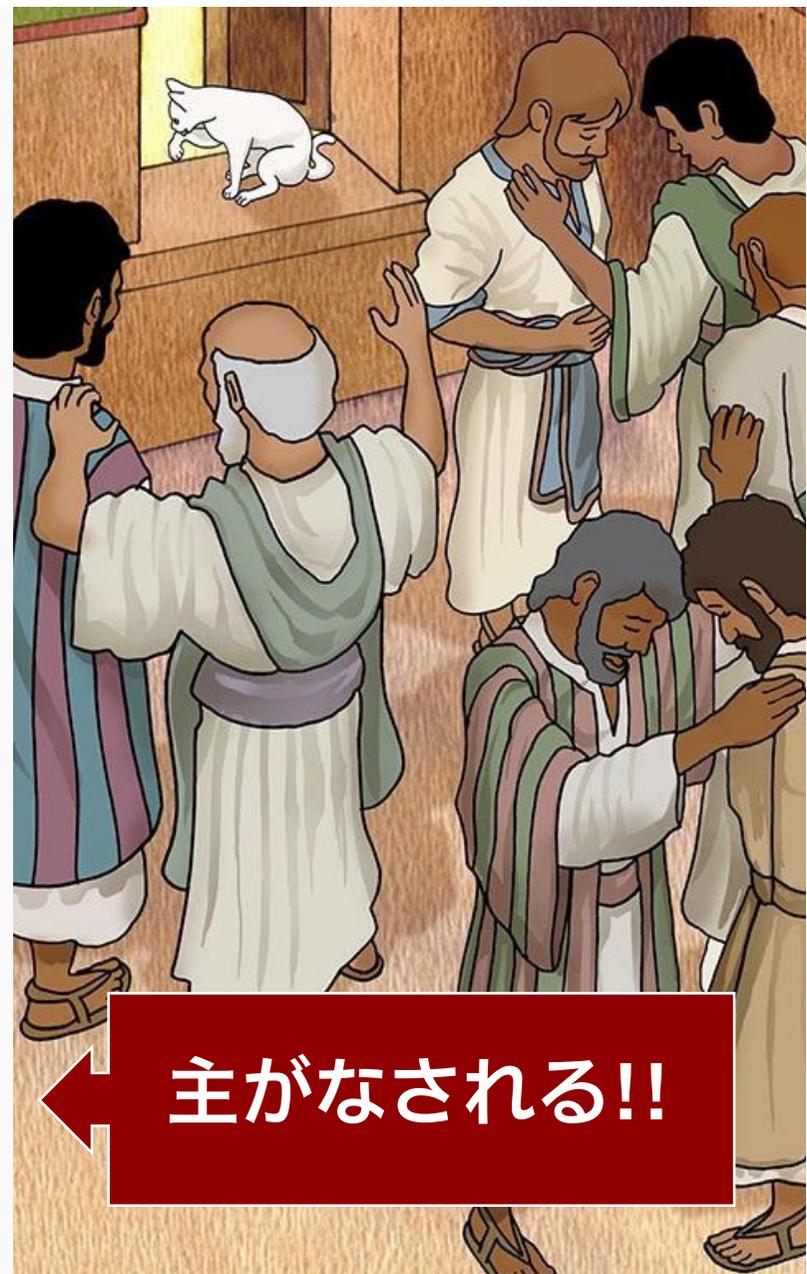
また、ケファに現れ、それから十二弟子に現れたことです。

祈り 召しにふさわしく Ⅱテサ1:11

こうしたことのため、私たちはいつも、あなたがたのために祈っています。どうか**私たちの神が**、あなたがたを**召しにふさわしい者***にし、また**御力によって**、**善を求めるあらゆる願いと、信仰から出た働きを実現***してくださいように。

■ 信仰の兄弟姉妹のために祈るべきこと

- ① 主の召しにふさわしい者になる
- ② 神の義を求め、示された働きに注力し、神の計画の進展を祈り求める。



主がなされる!!

栄光 帰すべき栄光 II テサ1:12

それは、私たちの神であり主であるイエス・キリストの恵みによって、私たちの主イエスの名があなたがたの間であがめられ、あなたがたも主にあって栄光を受けるためです。

- 信者の召命、働き、成長はすべて、“主イエスの御名があがめられる”ため。
- “主イエスの御名があがめられる”ことで、信者は、主にあって栄光を受ける。





Ⅲ. まとめと適用

クリスチャンの召命と希望

忍耐の根拠は終末の希望

- 迫害と苦難の中でも、信仰者の忍耐と信仰は保たれていく。
 - ➔ 神の正しい裁きがある証拠
- 世にあって苦難があるのは、神の国に入るため。
- 主が裁きを下され、信仰者に報い(永遠の安息)を与えられる。
 - ➔ 福音を拒んだ者は、永遠の滅びに至る。
- 王として来られた主イエスが、信仰者の間であがめられる。

クリスチャンに求められるのは、靈的成長

- 互いに成長し、愛が増し加わっていくのが、クリスチャンの喜び
 - ➔ 相手を必要とするのが愛。一人で成長はできない
- 主の使命に召されたのが、クリスチャン
 - ➔ 使命にふさわしい者に成長していくことが求められる
- 神の国と神の義を求め、与えられた使命に力を注いでいく。
 - ➔ 主は、クリスチャン一人一人を用いて、計画を進められる

成し遂げられた御業、栄光は、すべて主に帰すべきもの!!

★ クリスチャンの召命と希望 ★

- 信仰者には、迫害、苦難がある。忍耐する根拠は、終末の約束。再臨の主イエスが裁かれ、神の国で永遠の安息を与えられる。
- 永遠の滅びを免れる道は、福音を信じる道だけだと告げていこう。愛の交わりの中で、召しにふさわしく成長させられていこう。
- 御言葉の学びを深めつつ、主の約束の実現を求め、主に正しく用いられていこう。

栄光の主をほめたたえ、待ち望もう!!

てん とう
「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、罪を重ねてきました。
ひび おか つみ こくはく つみ
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活したこと、を信じます。

はくがい くなん なか しゅ やくそく きぼう お にんたい あゆ
迫害や苦難の中でも、主の約束に希望を置き、忍耐して歩みます。

きょうだいしまい まじ なか しゅ め せいちょう
兄弟姉妹の交わりの中で、主の召しにふさわしく成長させてください。

しゅ こ とき みことば まな ふか ふくいん つ し
主が来られる時まで、御言葉の学びを深め、福音を告げ知らせます。

しゅ うつわ もち しゅ えいこう き
主の器として用いられ、主に栄光を帰すことができますように。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」